

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(保管場所及びアクセスルート)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.148	審査会合 (2021.2.18)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	抑止杭による施設対応について、詳細設計段階 で保管場所及びアクセスルートへの悪影響を防止 するために必要な施設として設計する方針である ことを、とりまとめ資料の適切な箇所に記載する こと。	今回回答	抑止杭施工前の斜面のすべり安定性評価において、ばらつきを考慮したすべり安全率が 評価基準値を下回る事等から、抑止杭が必要な設備であることを記載しました。 また、詳細設計段階においては、更に余裕を持った設計とすることを目的に、抑止杭5本 を追加配置する計画としました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.70	主な説明事項 【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.149	審査会合 (2021.2.18)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	周辺斜面のすべり安定性評価について、抑止杭 効果の中抜け等による不確かさ、地盤状況の不 確かさ等を踏まえ、先行審査実績と同様に、詳細 設計段階で十分に余裕のある設計とする方針であ ることを、とりまとめ資料の適切な箇所に記載 すること。	今回回答	周辺斜面のすべり安定性評価について、抑止杭効果の中抜け等による不確かさ、地盤状 況の不確かさ等を踏まえ、詳細設計段階においては、更に余裕を持った設計とすることを 目的に、抑止杭5本を追加配置する計画としました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.70	主な説明事項 【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.150	ヒアリング (2021.2.4)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	詳細設計段階において、現状の安全率1.11を更 に向上させることについて検討すること。	今回回答	更に余裕を持った設計とすることを目的に、抑止杭5本を追加配置しました。 その結果、基本設計段階において1.11と評価していたすべり安全率が1.22に向上するこ とを確認しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.123	主な説明事項 【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.151	ヒアリング (2021.1.21)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	杭間隔について、同等の杭スケールの実績等を 説明すること。	今回回答	一般産業施設の施工事例について、Ss規模の地震による被災事例等に着目して確認し た結果、Ss規模の事例がないことから、杭間隔の妥当性を確認するため、杭間の岩盤 の中抜けを想定した3次元FEM解析を実施しました。 その結果、杭間における岩盤の局所安全係数が十分な余裕を有すること等から、中抜け が生じるおそれはないことを確認しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.90	主な説明事項 【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.152	ヒアリング (2021.2.4)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	詳細設計段階において、杭間の岩盤の中抜けを 想定した解析的検討について、3次元解析を 考慮に入れて検討すること。	今回回答	杭間隔の妥当性を確認するため、杭間の岩盤の中抜けを想定した3次元FEM解析を 実施しました。 その結果、杭間における岩盤の局所安全係数が十分な余裕を有すること等から、中抜け が生じるおそれはないことを確認しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.90, 151~180	主な説明事項 【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.153	ヒアリング (2021.1.21)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	杭下流側のシームすべりについて、保守性を考 慮し説明すること。	今回回答	杭前面における岩盤の肌分かれを想定したすべりの検討について、杭間の岩盤のせん 断抵抗力のみを考慮した動的解析を実施した結果、評価基準値に対し、余裕を有して いることを確認しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.128, 129	主な説明事項 【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.154	ヒアリング (2021.1.21)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	詳細設計段階において、杭根入れ部の局所安全 係数について確認する旨を記載すること。	今回回答	杭根入れ部の局所安全係数について確認した結果、区間Ⅱにおいて引張応力の発生し た要素が認められたことから、引張強度を設定した詳細評価を実施しました。 その結果、引張強度に達した要素は局所的かつ散在的であることから、周辺岩盤の破壊 による抑止杭の引き抜きは発生しないと評価しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.130~141	主な説明事 項【1-11】 (分類(B))
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.155	ヒアリング (2021.1.21)	-	設置許可 まとめ資料 技術的能力 1.0.2	島根原子力発電所2号炉可 搬型重大事故等対処設備保 管場所及びアクセスルートに ついて 技術的能力1.0.2	1.0.2-466	地中構造物のモデル化の考え方を説明するこ と。	今回回答	地中構造物は重量の観点から保守的になるよう埋戻土によりモデル化しました。 また、埋戻部前面での肌分かれを想定し、埋戻土部のすべり面を考慮しないケースにつ いても検討した結果、区間Ⅰのすべり安全率は1.10、区間Ⅱのすべり安全率は1.31とな り、評価基準値に対して余裕を有しており、安定性を有することを確認しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明 資料(安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性に関する 説明書)」JP.119, 123, 125	主な説明事 項【1-11】 (分類(B))

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(保管場所及びアクセスルート)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.269.270	断面図及び平面図で、鉄骨造の範囲及び免震装置の配置を説明すること。	後日回答			
2	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.272	本建物に採用した各免振装置の特徴、役割等を整理して説明すること。	後日回答			
3	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.274	マルチ・シア・スプリングモデルについて詳細に説明すること。	後日回答			
4	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.279	積層ゴムの引張側剛性の二次勾配1/50の設定根拠を説明すること。	後日回答			
5	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.279	積層ゴムの引張側面厚が1N/mm2を超えていないか確認して説明すること。	後日回答			
6	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.279	免振装置及び上部構造の減衰定数の設定の考え方について説明すること。	後日回答			
7	2022/2/8	NS2-補-020 改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.268	免振構造を採用した理由を説明すること。	後日回答			

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
8	2022/2/8	NS2-添1-026(比)	比較表(VI-1-1-7-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添1可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート)	P.62	貯水槽の評価について、②周辺タンク等の損壊で評価していることを説明すること。	後日回答			
9	2022/2/8	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.398,400	第4保管エリアの変更理由の拡充並びに可搬型設備の変更前後の数量及び変更理由について説明すること。	後日回答			
10	2022/2/8	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.405	重油移送配管の地下ダクトの範囲及び乗り越え箇所の概要を説明すること。	後日回答			
11	2022/2/8	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.403,405	重油の移送経路を説明すること。	後日回答			
12	2022/2/8	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.315,316	内空寸法が最大である光ケーブルダクトの代表性について説明すること。	後日回答			
13	2022/2/16	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.111	②-②断面の引張領域について、引張応力の発生要因を考察し、整理して説明すること。	今回回答	②-②断面では、D級及びCL級とCH級との剛性差により地盤応答が変化し、引張応力が発生していると評価しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.132~135	
14	2022/2/16	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.111,143	②-②断面の引張領域を特定し、説明すること。必要に応じて、抑止効果を発揮できるように対策を講じること。なお、三次元FEM解析の結果について、引張応力を含めて、中抜け現象の考察を行うこと。	今回回答	②-②断面において、原位置引張試験により岩盤の引張強度を設定し、引張強度に達した要素が局所的かつ散在的であり、周辺岩盤の破壊による抑止杭の引き抜きは発生しないと評価しました。また、三次元FEM解析の結果、杭間の岩盤のうち引張強度に達している要素は局所的であること等から、中抜けするおそれはないと評価しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.136~141,175~180	
15	2022/2/16	NS2-補-020改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.65	抑止杭の配置として、区間Ⅰと区間Ⅱの抑止杭をラップさせる必要性の有無について、具体的に説明すること。境界において、谷筋であり、すべりは発生しないものと考えられるが、杭を入れなくて良いとした理由を説明すること。	今回回答	区間Ⅰ及び区間Ⅱは谷で分かれており、異なる山体であり、現状の杭配置で、それぞれの山の安定性が確保されていることから、区間Ⅰ及び区間Ⅱの杭配置を重複させる必要性はないと評価しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」JP.78,79	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
16	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.69	b-b断面において、頂部のD級岩盤内のすべり安定性について説明すること。	今回回答	b-b断面において、頂部のD級岩盤内のすべり安定性評価の結果、最小すべり安全率は1.51であり、評価基準値1.0に対し余裕を有することを確認しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.85	
17	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.144	区間Ⅱについて、杭間隔の妥当性を考察し、説明すること。	今回回答	区間Ⅱの杭間のシームにおいて、局所安全係数が1.0を下回っていますが、杭間の岩盤は概ね健全であること等から、杭間隔は妥当と評価しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.178,180	
18	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.65	3次元FEMにて、杭間12mをモデル化し、杭間17.5mをモデル化しない妥当性を考察し、説明すること。	今回回答	区間Ⅰのうち杭間隔17.5mの範囲は3次元静的FEM解析モデルには含まれていないが、3次元静的FEM解析の結果、すべりに対して十分な裕度を有していること、及びモデル化している範囲に比べて杭間隔17.5mの範囲の方がすべり土塊量が小さいことを踏まえると、杭間隔17.5mの範囲についても杭間を中抜けするおそれはないと評価しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.172	
19	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.60	図2.7.1-3について、①②などの表記が斜面の記号と混在しているため、記載を適正化すること。	今回回答	図2.7.1-3における断面番号の記載を、他断面の番号と重複の無いよう適正化しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.72	
20	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.78	抑止杭の物性値の算定式等の説明について、数字を追えるよう追記すること。	今回回答	抑止杭の物性値の数字を追えるよう、算定式を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.95	
21	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.80	常時応力解析の境界条件を追記すること。	今回回答	常時応力解析の境界条件を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.97	
22	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.88	図2.7.3-5について、図番号を適正化すること。	今回回答	抑止杭に作用するせん断力の算定方法を引用する図の引用先を図2.7.3-7に適正化しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.105	
23	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.98	図2.7.4-1、SGIについて、p98とp99の記載の不整合を適正化すること。	今回回答	SG(杭間の岩盤又はシームのせん断抵抗力)について、保守的にゼロとする旨、記載を統一しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.118	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
24	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.100	埋戻土の下端について明記すること。地下水位の凡例が小さく見えにくいので、適正化すること。	今回回答	埋戻土の下端レベルを追記するとともに、凡例の大きさを適正化しました。同様の修正について、全ての図に対して行いました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.119他	
25	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.11	三次元浸透流解析の定常水位の記載を追記すること。	今回回答	図2.4.2.2-3、図2.4.2.3-4及び図2.8.2.1-4に3次元浸透流解析の定常水位を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.22,24,184	
26	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.26	Ss-N1, Ss-N2について、鉛直動の位相反転を考慮しない理由を追記すること。	今回回答	Ss-N1, Ss-N2については、観測波であるため鉛直動の位相反転を考慮しない旨を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.38	
27	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.37	有効応力の解析用物性値がないため、記載を適正化すること。	今回回答	有効応力解析の解析条件、解析用物性値等を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.13~19	
28	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.6	全応力解析による液化化範囲における液化化考慮の考え方を丁寧に説明すること。	今回回答	全応力解析による液化化範囲において、安定性評価の際にすべり面上のせん断力及びせん断抵抗力を考慮せずすべり安全率を算定する考え方を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.36	
29	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.38	⑨-⑨断面は、斜面上に盛土がされているため、排水対策など施工上の配慮を説明すること。	今回回答	⑨-⑨断面の盛土部について、盛土施工時に排水設備が設置されており、適切に排水対策をしている旨を記載しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.187,188	
30	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.78	区間Ⅰ、区間Ⅱの境界について、航空写真などで地形を詳しく説明すること。	今回回答	航空写真を追加し、区間Ⅰ、区間Ⅱで山体が異なっていることの詳細な説明を記載しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.78,79	
31	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.91	許容せん断抵抗力について、p89, p90, p91において、コンクリートの扱いに不整合がないよう、記載を適正化すること。	今回回答	せん断抵抗に関して、コンクリートの扱いに不整合がないよう、表2.7.3-6において、シームを通るすべりが発生した際に生じるせん断力をH鋼のみでなく、コンクリート及び帯鉄筋も負担することを追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.106	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
32	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.95	必要なケースの断面力図を示すこと。	今回回答	①-①'断面及び②-②'断面における、抑止杭の断面力図を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.114,115	
33	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.95	杭の変形図、最大相対変形量を示すこと。	今回回答	①-①'断面及び②-②'断面における、最大せん断力発生時の抑止杭の変形図及び最大相対変位量を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.114,115	
34	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.116	構造が相違していても、適用性がある旨を示すこと。	今回回答	表2.7.5-1において抑止杭の構造が相違していても、抑止杭の根入れ深さの考え方、せん断抵抗力の設定方法等、鳥根における適用性があることの記載を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.144	
35	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.133	二次元場から三次元場への常時応力の展開式について、詳細に説明すること。	今回回答	二次元場から三次元場への常時応力の展開式について、導出の過程が分かるよう詳細に記載しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.161,162	
36	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.4	離隔距離の根拠となる文献の内容について詳細に説明すること。	今回回答	「2.3.1離隔距離の考え方」において、離隔距離の設定に用いた各種文献を表2.3.1-1に整理し、それぞれの文献に関する詳細を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.4~8	
37	2022/2/16	NS2-補-020改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.1	p37にて液状化を考慮したすべり安定性評価が行われていることを追記すること。	今回回答	評価対象斜面の選定における簡便法及び地震応答解析による周辺斜面のすべり安定性評価において、液状化を考慮したすべり安定性評価を行う旨を追記しました。	NS2-補-020改07「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.36	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(保管場所及びアクセスルート)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	目次,p.21, 35,37~41, 45,46, 49~53, 55~57	屋外アクセスルートの定義に基づき、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋外アクセスルート (新)屋外 の アクセスルート	2022/2/3	
2	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	目次, p.84~87,103	屋内アクセスルートの定義に基づき、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋内アクセスルート (新)屋内 の アクセスルート	2022/2/3	
3	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.17,19	10号倉庫の倒壊影響範囲図の見直しに伴い、第4保管エリア及びアクセスルートの形状を変更しました。	2022/2/3	
4	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.20	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)『該当なし』 (新)「該当なし」	2022/2/3	
5	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.24	図2-6の誤記を修正(削除)しました。(下線部参照) (旧)▽ <u>沈下量評価位置</u> (新)なし	2022/2/3	
6	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.29	図2-9の誤記を修正(削除)しました。(下線部参照) (旧)▽ <u>沈下量評価位置</u> (新)なし	2022/2/3	
7	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.32	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)42,620kg (新)42620kg	2022/2/3	
8	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.32	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)21,194kg (新)21194kg	2022/2/3	
9	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.33	図2-11の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)7,181kg (新)7181kg	2022/2/3	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
10	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.33	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)11,039kg (新)11039kg	2022/2/3	
11	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.33	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)8,130kg (新)8130kg	2022/2/3	
12	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.33	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)8,135kg (新)8135kg	2022/2/3	
13	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.58	「アクセスルートの周辺斜面について、基準地震動Ssによるすべり安定性評価を実施する。なお、当該評価にはアクセスルート周辺斜面に兼ねる保管場所の周辺斜面及び敷地下斜面がアクセスルート周辺斜面の評価も含まれる。」の記載が重複していたため、削除しました。	2022/2/3	
14	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.59	設置変更許可申請書に合わせて、図3-7における⑦-⑦'断面の斜面範囲を修正しました。	2022/2/3	
15	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.59	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)T.P. (新)EL	2022/2/3	
16	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.59～61, 64	設置変更許可申請書に合わせて、「対策工を実施した斜面」に⑦-⑦'断面を追加したことに伴い、図3-8、図3-9、表3-8、表3-9に⑦-⑦'断面を追加しました。	2022/2/3	
17	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.61	D級岩盤について、岩相・岩級区分から岩級区分へ変更し再解析を実施したため、表3-9の②-②'断面(対策工あり)のすべり安全率「1.67」を「1.66」に変更しました。	2022/2/3	
18	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.64	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)B26シームを通して、道路法尻にぬけるすべり面 (新)B26シームを通して抑止杭背後で切り上がるすべり面	2022/2/3	
19	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.68	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)相対沈下量(基礎、MMR含む構造物高×0.35) (新)相対沈下量(基礎、MMR含む構造物高×0.035)	2022/2/3	
20	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.74	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)3,555 (新)3555	2022/2/3	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
21	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.74	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)3,129 (新)3129	2022/2/3	
22	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.74	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5,423 (新)5423	2022/2/3	
23	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.74	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)7,419 (新)7419	2022/2/3	
24	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.74	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5,423 (新)5423	2022/2/3	
25	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.74	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)7,419 (新)7419	2022/2/3	
26	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.77	図3-14「3号機北西側アクセスルート拡大図」の枠線を削除しました。	2022/2/3	
27	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.79	図3-16の凡例の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)人工リーフ (新)基礎捨瓦	2022/2/3	
28	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.80	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)横断する47箇所の地中構造物のうち、内空寸法が最大であるNo.29の光ケーブルダクト(No.21ダクト) (新)表3-13に示す47箇所の地中構造物のうち、内空寸法が最大である通し番号29の光ケーブルダクト(No.21ダクト)	2022/2/3	
29	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.87	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図4-1に、屋内アクセスルート及び抽出した機器の配置を図4-2に示す。 (新)図4-1に示す。	2022/2/3	
30	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	p.89	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)表4-3に示す。 (新)表4-3及び図4-2に示す。	2022/2/3	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
31	NS2-添1-026	VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート	P.104	図4-3に示す判断フローのうち、「アクセスルートエリアの溢水水位はアクセス可能な水位か*1」の判断の分岐先に「Yes」及び「No」を追記しました。	2022/2/3	
32	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.1	図2.2-1の評価フローに液状化範囲の検討のフローを追加しました。	2022/3/24	
33	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.2	地すべり地形②の離隔距離が保たれている旨の記載箇所について、「2.3.1離隔距離の考え方」から、適切な記載位置に変更しました。	2022/3/24	
34	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.9	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2号機南側盛土斜面及び33m盤盛土斜面の地下水位は法尻付近までの上昇に留まっているが、2次元浸透流解析により地下水位の分布をより詳細に検討し、液状化範囲を設定する。 (新)2号機南側盛土斜面及び33m盤盛土斜面の地下水位は法尻付近までの上昇に留まっているが、2次元浸透流解析により地下水位の分布をより保守的に検討し、液状化範囲を設定する。	2022/3/24	
35	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.10	図2.4.1-1について、2号機南側盛土斜面と、その他の斜面で検討フローが異なっていることが分かるよう修正しました。	2022/3/24	
36	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.11	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2.4.2 液状化範囲の検討結果 (新)2.4.2 液状化範囲の検討方法及び検討結果	2022/3/24	
37	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.11~13.20	「2.4.2液状化範囲の検討方法及び検討結果」において、検討方法と結果が分かるように章タイトル「(1) 2次元浸透流解析の検討方法」、「(2) 2次元浸透流解析の検討結果」、「(3) 2次元有効応力解析の検討方法」、「(4) 2次元有効応力解析の検討結果」を追加しました。	2022/3/24	
38	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.22,24,184	2次元浸透流解析による検討地下水位が、3次元浸透流解析による地下水位より保守的である旨を追記しました。	2022/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
39	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.38	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)SHAKE Ver.2 (新)SHAKE Ver.2.0	2022/3/24	
40	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.82	章タイトル【抑止杭の効果を期待しない範囲の安定性確認】を追加しました。	2022/3/24	
41	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.82	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図2.7.2-11に示す <u>通り</u> 。 (新)図2.7.2-11に示す <u>とおり</u> 。	2022/3/24	
42	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.86	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)②, ③に係る杭の断面配置の妥当性確認結果は「2.7.4 抑止杭を配置した斜面の安定性評価」の中で示す。 (新)②, ③に係る杭の断面配置の妥当性確認結果は「2.7.4 抑止杭を設置した斜面の安定性評価」の中で示す。	2022/3/24	
43	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.90,91	「2.7.2抑止杭の設計(5)杭間隔の考え方」の文章及び表2.7.2-4において、杭間のアーチ効果に係る文献④に関する記載を追加しました。図2.7.2-23として、文献④の概要を追加しました。	2022/3/24	
44	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.98,107,109	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)土木学会 (新) <u>(社)土木学会</u>	2022/3/24	
45	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.107	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)日本道路協会 (新) <u>(社)日本道路協会</u>	2022/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
46	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.119	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)埋戻土層下端(EL 44m盤) (新)埋戻土層下端(EL 41m)	2022/3/24	
47	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.119	設置許可審査資料で示していた、地中構造物のモデル化方法に係る記載を誤って削除していたため追記しました。	2022/3/24	
48	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.149	抑止杭のH鋼の脚部の処理が分かるよう施工時の写真を追加しました。	2022/3/24	
49	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.156,157,159	図中の誤記を適正化しました。(下線部参照) (旧)凝灰岩・凝灰岩礫岩 (新)凝灰岩・凝灰岩礫岩	2022/3/24	
50	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.163,164	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)「JEAQ4601-2015原子力発電所耐震設計技術指針」 (新)「JEAQ4601-2015原子力発電所耐震設計技術指針」	2022/3/24	
51	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.167	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)「JEAQ4601-2008原子力発電所耐震設計技術指針」 (新)「JEAQ4601-2008原子力発電所耐震設計技術指針」	2022/3/24	
52	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.169	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張破壊が生じている要素が抑止杭周辺に発生しているが (新)引張応力が発生した要素が抑止杭周辺に認められるが	2022/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
53	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.173	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張破壊が生じている要素が杭間の下部及び抑止杭より上流側の岩盤に発生しているが (新)引張応力が発生した要素が杭間の下部及び抑止杭より上流側の岩盤に認められるが	2022/3/24	
54	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.177	杭間のアーチ効果に係る説明の記載を追加しました。	2022/3/24	
55	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.178,179,180	p.175の「(b)引張強度を反映した岩盤の評価」を追加したことから、章番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)「(b)シームの評価」, 「(c)杭-岩盤境界部の評価」, 「(d)区間Ⅱの評価結果まとめ」 (新)「(c)シームの評価」, 「(d)杭-岩盤境界部の評価」, 「(e)区間Ⅱの評価結果まとめ」	2022/3/24	
56	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.185	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図2.8.2.1-6に示す通り (新)図2.8.2.1-6に示すとおり	2022/3/24	
57	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.185,186	図2.8.2.1-6に簡便法により設定した埋戻土のみを通るすべりのすべり安全率を追加し、安定性を有することを確認した旨の記載を追記しました。	2022/3/24	
58	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.189	図2.8.2.2-4に33m盤盛土斜面の盛土部を通るすべりのすべり安全率を追加し、安定性を有することを確認した旨の記載を追記しました。	2022/3/24	
59	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.209	注記*1及び*2が重複していたため、レベル2地震動、性能2をそれぞれ*4、*5とし、適正化しました。	2022/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
60	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.210,230	3次元静的FEM解析に用いたTDAPⅢの解析コードの検証を追加しました。	2022/3/24	
61	NS2-補-020改07	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.244～248	(参考資料4)としてD級岩盤等の間隙率の設定についての説明を追加しました。	2022/3/24	